

# さっぽろ読書・図書館プラン 2022 の全体像

**第1章 計画の策定に当たって** 計画の策定 計画の位置づけ 計画期間 計画の対象 対象事業

**第2章 考慮すべき環境変化** 社会環境の変化 読書環境の変化 札幌市の図書館の状況

**第3章 国・北海道及び札幌市の動向** 国や北海道 札幌市 → さらに関係附属機関提言等

**第4章 図書館ビジョン及び子ども読書プランにおける成果と課題**

<p><b>1 図書館ビジョン</b></p> <p>市民の生活や活動に役立つ図書館 本・人・文化を結ぶ図書館 広く情報を発信し、市民とともに成長する図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書館の全体満足度が上昇</li> <li>○ 利用者拡大や情報化などに改善余地</li> </ul>	<p><b>2 子ども読書プラン</b></p> <p>子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の充実 子どもの読書活動に関する普及啓発 子どもの読書環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一部に改善が見られるが指標は未達成</li> <li>○ 十分な活性化に至らず努力継続が必要</li> </ul>
---	---

今後の方向性  
課題や目指したい姿

**第5章 計画の方向性と基本理念**

これまでの成果や課題を踏まえた計画の重要な「三つの観点」

- 「地域での施策」
  - 地域展開
 

これまで以上に地域・コミュニティの重要性が増す中、地域特性を踏まえた上で市民が身近な地域で自ら学び、サービスを活用する方法を考える観点
- 「変化への対応」
  - 社会の変化に応じた図書館運営
 

情報化の進展や地域の教育力の低下、感染症対策など、環境の変化に柔軟に対応し、広い視野で図書館政策を考える観点
- 「持続・継続」
  - 取組の継続・持続可能性
 

今後とも全ての人にとって必要性の高い取組を継続するとともに、図書館運営を前向きに持続するために、財源や人材の確保、事業内容など様々な見直しを考える観点

三つの観点を踏まえた基本理念 **「市民の生涯にわたる学びや創造的な活動を支える」**

(基本理念を実現するために次の四つの基本方針に基づいて具体的施策を展開)

基本方針1 市民の読書環境の充実と情報活用の支援	基本方針3 全ての市民の学びと情報の拠点としての環境整備
基本方針2 子どもの読書環境の充実と読書活動の支援	基本方針4 持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営

**第6章 具体的な施策の展開**

<p><b>基本方針1 市民の読書環境の充実と情報活用の支援</b></p> <p>市民の誰もが文字・活字文化に親しむ基盤の整備や読書を楽しむ機会の充実を図る</p> <p>来館が難しい方や障がいのある方の読書環境の充実を図る</p>	<p><b>【重点】 新たな読書機会の創出</b></p> <p>市民による情報の収集や活用を支援する</p> <p>読書を支える多様な活動を支援する</p>
<p><b>基本方針2 子どもの読書環境の充実と読書活動の支援</b></p> <p>あらゆる機会・場所で子どもが読書に親しむ環境をつくる</p> <p>市民が子どもの読書推進の意識を共有する</p>	<p><b>【重点】 子どもが読書に関心を持てる働きかけ</b></p> <p>発達段階ごとに効果的な読書支援に取り組む</p> <p>子どもの興味や関心に応じた活動を支援して物事を探求する姿勢を養う</p>
<p><b>基本方針3 全ての市民の学びと情報の拠点としての環境整備</b></p> <p>全ての市民の課題解決を支援する</p> <p>身近な地域の学びの場としての機能を強化する</p>	<p><b>【重点】 地域の生涯学習拠点としての役割の検討</b></p> <p>地域の生涯学習と情報の拠点となることを目指す</p>
<p><b>基本方針4 持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営</b></p> <p>将来にわたって持続可能な図書館とするための取組を進める</p> <p>社会経済情勢や市民ニーズに応じた図書館サービスの検討を進める</p>	<p><b>【重点】 将来も継続できる図書館サービス</b></p> <p>民間活力導入を含む図書館の効果的・効率的な管理運営手法を検討する</p>

**第7章 計画の推進のために**